

イスラエル・ガザ人道危機救援金

「国際奉仕」音楽家と協力

花輪ロータリークラブ オンラインコンサート収益寄付



発行所
秋田県鹿角市花輪字上中島
195番地 〒018-5201

(株)米代新報社
TEL 23-2911(代)
FAX 23-2912



石井会長に寄付金を手渡す菅原会長(中央)

鹿角市の花輪ロータリークラブ(菅原史明会長)は20日、今年度主催したチャリティーコンサートに関連した動画配信の収益金1万5000円

を「イスラエル・ガザ人道危機救援金」として、日本赤十字社の鹿角市事務局を担う市社会福祉協議会(石井勲会長)に届けた。同社福祉事務所で贈呈式が行われ、受け取った石井会長は支援の輪の広がりに感謝しながら「有効に活用されるよう、皆さんの思いと共に日本赤十字に届けます」と約束した。

同ロータリーが昨年、定期的に開催している会合にゲストとして鹿角市在住のソプラノ歌手で音楽家の河崎和香子さんを招いたことをきっかけに、ロータリーが掲げる「国際奉仕」の理念に河崎さんの思いが重なり、今年5月にトルコ・シリア地震被災支援を目的とした「笑顔の花咲くチャリティーコンサート」を開催した。コンサートは河崎さんとピアノリストの阿部里美さんの2人を迎え、約1000人の観客がクラシックやオペラのほかミュージカルソングや唱歌など14曲を堪能。入場料収益全額に観客からの募金を合わせた21万円をトルコシリア大地震の支援金として5月に送金している。事業はリアルコンサートに留まらず、河崎さんの呼び掛けでウエストミンスター時代の学友や、米国の大学で教鞭を取る講師陣など世界で活躍している名だたるプロミュージシャン12人がオンラインチャリティーコンサートに協力。10月1日から2カ月間で集まった視聴料1万5000円を今回寄付した。

かけに、花輪ロータリークラブ内のチャリティー活動への機運が高まっている。現時点で具体的な計画は未定だが、今後もし取り組んでいきたい」と意気込んだ。

チャリティーに協力した河崎さんは「多くの方々の協力のお陰で、2度にわたる支援ができたことをうれしく思い、感謝しています。今回オンラインコンサートに協力いただいた皆さんはプロのミュージシャンであり、演奏の対価としていただいたものが被災地の支援になることは、『自分たちの活動が社会の役に立っている』という喜びや誇りになります。加えて、今回のコンサートを通じて、多くの人たちにミュージシャン個々についてや音楽のすばらしさを伝えられたことをうれしく思っています」と話し、笑みを見せた。

寄贈式には菅原会長と柳館清典副会長、ソプラノ歌手の河崎さんの3人が参加。菅原会長は「国際福祉活動に役立ててほしい」と石井会長に目録を贈呈。さらに「今回の活動をきつ